

会議録	
名称	平成28年度11月富士見市図書館協議会
開催日時	平成28年11月12日（土）午前10時00分～12時00分
場所	中央図書館レセプションルーム
出席者	<p>○図書館協議会委員 岩本喜直委員長 林文子委員（職務代理） 山崎美晴委員 大澤茂和委員 佐藤千枝子委員 渋谷八重子委員 本間雄一委員 野村富雄委員 関根衣都美委員</p> <p>○教育委員会生涯学習課 鳥海課長 和田副課長 古川主査 寶榮主事</p> <p>○図書館 清水中央館館長 朝倉副館長 長谷川鶴瀬西分館長 青崎ふじみ野分館長</p> <p>○指定管理業者 紀伊國屋書店ライブラリーサービス部 横山</p>
欠席者	山川亜紀子委員
公開・非公開	公開
次第	<p>○報告・連絡事項 各館からの活動報告（図書館） 第3次富士見市子ども読書活動推進計画について（生涯学習課） 第2次富士見市子ども読書活動推進計画現状調査報告（生涯学習課）</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会11月定例会次第 ・各館活動報告資料 ・埼玉県立歴史と民俗の博物館特別展示チラシ（渋谷定輔） ・富士見市立図書館広報誌「さざなみだより」ほか ・第3次子ども読書活動推進計画について ・第2次計画に対する成果と課題 ・連携状況 ・学校および保育園等の蔵書状況
会議録確認	岩本委員長

議事内容

1 開会（朝倉副館長）

2 委員長あいさつ（岩本委員長）

3 報告・連絡事項

○各館からの活動報告

<中央図書館>

- ・資料に基づき報告。特にハロウィン工作会、図書館まつりについて説明。

<鶴瀬西分館>

- ・資料に基づき報告。特に学校連携事業・地域連携について説明。防災訓練に参加した。

<ふじみ野分館>

- ・資料に基づき報告。特にハロウィンイベントについて説明。

委員：ビブリオバトルを見学したが、大人が児童の本を紹介したり、逆に児童が大人の本を紹介する事があり、興味深かった。ふじみ野分館のハロウィンイベントは、歴史的・学術的に学びやすい展示やおはなし会だったので、とても良かった。

委員：昨年と比較しての、図書館まつりの評価をして欲しい。図書館まつりを実施したで終わってしまっている。

図書館：昨年は2日間の開催だったのでそれに比べると少ないが、14のイベントそれぞれに人気があり、楽しんでいただけたのではないのかなと感じる。福袋も25組出て、貸出にも繋がったのではないかな。

委員：イベントは、切り口によって評価が異なる。繰り返していくことで、効果があるのでは。周知の方法に工夫が必要。

図書館：イベント偏重になるのはどうなのか。来年は休館で開催出来ないが、次回は文芸講演会等、本に近い企画をしていきたい。ビブリオバトルは継続していきたい。

図書館：大宮公園内の埼玉県立歴史と民俗の博物館で、渋谷定輔の展示を平成29年1月22日まで行っている。富士見市から資料を提供しているので、時間のある方は是非足を運んで欲しい。

○第3次子ども読書推進計画について

- ・資料に基づき報告。

○第2次富士見市子ども読書活動推進計画現状調査報告について

- ・資料に基づき報告。

【質疑応答】

委員：遠方だと利用できないという話があったが、携帯等を利用しコミセン等で予約受け取りをするのはどうか。

委員：本の楽しさを、まだ知らない子や親が多い。どうしたら子ども達が本を手取るか、日々考えるような生活をしている。子ども達は忙しいが、時間の隙間を埋めている物はゲームのようだ。自分が小さい頃は、ちょっとした待ち時間には本を読んでいた。保護者に読書の良さを伝えたい。保護者が読書の良さを知らないと子どもに読み聞かせをしないし、本を読む環境を作れない。

図書館：保護者もそうだが、先生方にも本の良さを知ってもらい、子ども達に伝えて欲しい。先生の本棚を設け、リクエストのあった名作を置いている。

委員：社会教育の立場から、家庭教育などにさまざまな取り組みをしているが、本が大事だと感じている。報告を聞いていて、小学校の読み聞かせはとても重要で本を沢山読んでいる子は、学力にも影響するし、字を読む癖がついている。社会にでたときの読解力も、小学校の読み聞かせの影響だと思う。部活などで忙しいが、中学校での読書活動も非常に重要。保育所の団体登録はしていないのか。

市：団体登録は行っている。

委員：保育園では、程度の差こそあれみんな本が好き。図書館に近いので、団体登録をし図書館を利用している。距離が遠い施設は、利用が難しい様なので私たちは幸せだなと感じている。幼児にとって、図書館に来る事は社会体験であり、良い経験をさせていただいている。最近の子どもたちの身近にある物は全てデジタルで、興味を示すと親がそれを渡してしまう。保育園や幼稚園は、集団で社会生活を学ぶ場なので、スマホなどは置いていない。そんな中で絵本に触れるという事を、保護者にアピールしていきたい。ハロウィン関係の工作会など、素晴らしいと思った。本屋さんが激減する中で、図書館の役割は非常に大きい。読み聞かせのボランティアが不足しているとあるが、どんな方がやられていてまた、募集はどうしているのか。

市：今、多くの読み聞かせボランティアが求められている。図書館所属のボランティアは一団体で、読書活動が活発になればなるほど、要望が増え、気持ちは高まっているが、それに対して応募する人数が少ない。

委員：募集はどうか。

図書館：募集はしていないが、応募があれば随時参加という形を取っている。現状は減少傾向にある。

委員：小学校では、お母さん方のボランティアが読みかせをしているが、そういったところから、芽生えていけばと思う。ボランティアは、一団体か。

市：中央図書館では一団体で、各学校に学校応援団がある。

委員：応援団の中に、いろんな分野があって、読み聞かせというグループがある。

図書館：今後の予定として、読み聞かせ講座を予定している。講座に参加した方にボランティアへの加入をして頂きたいという考えはある。

委員：保育士も読み聞かせをしているが、研修・講義として見聞を広める為に、様々な方に本を読んでもらいたい。

委員：読み聞かせのボランティアをしている。メインは高齢者向けだが、南畑小学校の読み聞かせにも参加している。改めて小学生に読み聞かせをして感じた事は、集中力の高さ。高齢者の場合、半分は寝ている事が多い。1人2人が分ってくればいいのかという感じがしている。低学年の時に、本の面白さを分る事が大事だと思う。きっかけを与えてあげれば、自分で本を手取る事に結びつくと、改めて感じた。ふじみ野分館にも声をかけて頂いたので、そちらの活動もやっていきたい。

委員長：朝刊紙に紹介されていたが、三郷市は自治体全体がバックアップし2013年に、「日本一の読書のまちをつくろう」ということを、アドバランにしてあげた。その後読書感想文コンクールで、今年は埼玉県で小学生の部6学年中4学年で奨励賞を受賞している。何かインパクトのある事業をやっているのではないか。見習う事があったら、見習ってみたい。

委員：最近、読解力を重視するという事をよく聞く。本を読み漁った子は、非常に正しく判断する力がある。学校の方でも読む時間を増やすなどしたら良いのではないか。

委員長：某朝刊紙が本年10月に全国読書調査を行い結果が新聞で紹介されている。「どんな図書館なら利用するか」というアンケートで、「面白い本がある」というのが第1位に上がっている。やはり、面白い本があるという事が利用者を取り込むきっかけになるのでは。三郷市に見学に行ってみたい。図書館以外にどのような活動をしているのか。

市：子ども司書講座の視察に行ったが、学校教育課が熱心に進めている様だった。

図書館：子ども読書の調査で、図書館から本を提供して欲しいという希望が多数あったので、12月に頒布会を予定している。

6 閉会（林委員）